

川勝知事 VS 静岡市 知事には一切の権限なし

先日、川勝知事と田辺市長が意見交換の場を持った。川勝知事は東静岡駅周辺整備や三保の松原の松枯れ対策などのへ静岡市の取り組みに厳しい批判を繰り返してきた。

さすがに私はこの状況を看過することはできず、「県と市が連携して取り組んでいるのに批判するのはおかしい」と新聞紙上を通じて発言した。実際、3月の段階で静岡市選出の自民党県議団と市の担当幹部との間で三保松原の保全策に関して説明会を開催しているし、市と県の担当者はいずれも「現場レベルでは意思疎通を図った上で対策に取り組んでいる」としている。知事に正確な情報が届いてないのだろうか？と心配になる。

JR東静岡駅周辺は、旧国鉄からの払い下げを受け、市が土地区画整理を進めている。周辺には2013年4月、大型商業施設「MARKIS(マークイズ)静岡」が開業し、複数の高層マンションが林立する。その一方、駅北側の約2.5ヘクタールの市有地に、静岡市は県と連携し多目的アリーナを建設誘致する計画を進めていた。そのため静岡合併時に決めた新庁舎建設計画を白紙に戻し、関係条例の改正まで行った。それを十分な検討もせず潰したのは知事本人ではなかったか！？

今、知事と静岡市がじっくりいっていないと感じるのは私だけだろうか？特に昨年の秋、知事「県庁移転を検討」—こんな見出しが静岡新聞に載った頃からその思いが強い。政令市である静岡、浜松両市が都道府県並みの権限を持つ「しずおか型特別自治市」を目指していることに関し、「県は一切(両市から)手を引く」「その準備として本気で県庁を移転しようと検討している」と発言している。「県は一切手を引く」というなら、静岡市に物申すのは筋違いだ。

川勝知事は今回の会談で「静岡市は東静岡のみならず三保松原についても県の

考え方を尊重しながらやると話があった」と。言いかえれば田辺市長は「県の言う通りにやります」と聞こえなくはないか……。この発言で私はいっそう県と静岡市の関係が危ぶまれる。静岡市選出の県議会議員として最善の策を常に考えていきたいと思う。

静岡県議会議員
天の一